

# 全厚労の歴史（略歴）

## 1954年（昭和29）

5月 北日本厚生連従業員組合（北海道、青森、秋田、宮城、岩手、山形、福島、新潟）から全日本厚生連従組結成大会の招請状が結成準備委員長（秋厚従組執行委員長・松本健五郎氏）名で全国的に呼びかけられる。

## 1954（昭和29）

6月 全日本厚生連従組結成（第1回大会・秋田）  
\*参加県：北海道、青森、秋田、宮城、新潟、長野

## 1954（昭和29）

11月 第2回大会（長野）  
\*参加県：北海道、青森、秋田、山形、福島、宮城、新潟、栃木（郡連）、富山、長野

## 1957（昭和32）

8月 全医労・全日赤・厚生連従組・新潟医労協などが「日本医療労働組合連絡協議会（日本医労協）を結成

## 1960（昭和35）

全国各地で「病院スト」、安保闘争広がる

## 1961（昭和36）

国民皆保険制度発足。

## 1965（昭和40）

5月 全医労で「夜勤月8日、一人夜勤禁止」等の人事院判定

## 1968（昭和43）

新潟県職労で「夜勤月8日制」協定化、新厚労も夜勤協定獲得

## 1974（昭和49）

三重の加盟で18県1万3千名の組織へ

## 1975（昭和50）

3月 全厚連と初の団体交渉を行う  
4月 新厚労が4波・15時間のストライキを決行

## 1976（昭和51）

8月 秋田にて第1回青年交流集会・キャンプを行う  
11月 5日全国324病院で「医療改善スト」、新潟・長野が参加  
77春闘 平均12,718円賃上げ（ベア9,659円、8.76%）  
埼玉が加盟し、19県1万6千名を突破

## 1978（昭和53）

第1回婦人集会を開催

山口が加盟し、20県1万7600名へ

**1979 (昭和54)**

5月 「健保改悪阻止、5・17全厚労中央決起集会」に14県が参加。医療労働会館に組合員150名が宿泊

**1981 (昭和56)**

4月 全厚労初の統一ストライキ13県76病院1万6千人が行動。

**1982 (昭和57)**

「核兵器廃絶と軍縮をすすめる82年平和のための東京行動」参加。

**1983 (昭和58)**

11月 第1回医療研究集会を静岡・湯河原で「協同組合医療運動の復興」をテーマに開催、216名が参加。

**1984 (昭和59)**

4月 医療・社会保障改悪への産別ストへ参加。

10月 全厚労第1回労働学校を開催。

**1986 (昭和61)**

9月 第34回定期大会・高知 協議体から「連合体化」を決定。

**1987 (昭和62)**

7月 日本医労協が「連合体」移行し、日本医労連へ

9月 第1回幹部・看護師集会を新潟で開催、124名が参加。

**1988 (昭和63)**

1月 連合体後、初の中央委員会開催、「農業と食料、生活と健康を守る春闘」を展開。

7月 第1回青年活動者学習交流集会を開催。

**1989 (平成1)**

7月 日本医労連が「看護婦闘争」宣言、ナースウェーブが始まる。

11月 「全国労働組合総連合(全労連)」が結成される。

**1990 (平成2)**

5月 24 ナースウェーブ中央行動に参加、全体では3150人。

**1991 (平成3)**

5月 婦人委員会で6~7月を「婦人の権利を考える月間」に設定。

**1992 (平成4)**

1月 看護委員会で、「夜勤協定化マニュアル」をまとめる。

**1993 (平成5)**

4月 医療の実態を訴える白衣デモが全国に広がり、11県で実施。

**1994 (平成6)**

4月 白衣デモが14県に広がる。22県2万5千名を突破。

**1998 (平成10)**

5月 ナースウェーブ 10年目に中央集会（5000名参加）

### 1999（平成 11）

10月 第13回幹部・看護婦集会 12年間で、22組織中20組織で「夜勤協定」を獲得。

### 2000（平成 12）

7月 青年企画「K's station 星降る高原に集う」を開催。

7月 第23回女性集会 婦人集会から女性集会へ名称変更。

11月 反「合理化」対策会議を開催。

### 2001（平成 13）

4月 病院薬剤師定員問題に関する全国代表者会議を開催、初の厚生省交渉を行う。

### 2002（平成 14）

STOP！有事法制 全国集会行われ、参加。

### 2003（平成 15）

11月 文部科学省・厚生労働省と交渉、文科省は初。

### 2004（平成 16）

3月 外来・手術室・透析室看護師集会を静岡で開催。

10月 新潟・中越地震が発生、震度6で厚生連病院も被災。

### 2005（平成 17）

1月 春闘討論集会 災害マニュアル作成・人員体制が課題へ。

11月 臨床検査技師、放射線技師、透析の看護師と臨床工学技師の人員配置基準試案を厚労省へ。

### 2006（平成 18）

6月 50周年企画でスエーデン、デンマークへ医療・福祉視察。

10月 医師・看護師増やせ中央集会に5300人（全厚労283名）

### 2007（平成 19）

7月 新潟・中越沖地震が発生、刈羽総合病院が被災。

### 2008（平成 20）

12月 島根・石西厚生連が突然の「破産宣告」、栃木・塩谷総合病院の移譲先を決定。

### 2009（平成 21）

4月 新・日本医療労働会館が竣工。

### 2010（平成 22）

2月 ドイツ・オーストリアへの医療視察ツアーを開催。

### 2011（平成 23）

3月 東日本大震災発生、東電・福島第一原発事故で、双葉厚生病院が機能停止へ 組織人員が3万人を突破。

### 2015（平成 27）

9月 第63回定期大会 茨城 結成60周年を迎える。

#### **2016 (平成28)**

4月 埼玉厚生連の解散方針により、久喜総合病院が「一般社団法人 巨樹の会」に譲渡され「新久喜総合病院」へ。労働組合は埼玉労として存続。

5月 熊谷総合病院も民間譲渡され、「医療法人 熊谷総合病院」へ。同年9月、埼玉労熊谷支部を承継し、「熊谷総合病院労働組合」を立ち上げる。

12月 茨城 年末一時金0.5ヶ月の回答と退職金積立の3年間凍結の同時提案に対し、24年ぶりに800名が参加し半日ストライキを断行。

#### **2017 (平成29)**

9月 第65回定期大会での規約改正で、埼玉労、熊総労が正式に加盟継続となる。

#### **2018 (平成30)**

10月 K's station in 秋田を開催。季節外れの台風到来でスタート大混乱も現地の青年の切り回しで難を逃れる。

#### **2019 (令和1)**

10月 台風19号が東日本～東北を直撃。幹部看護師集会は半日開催へ。長野・茨城など風水害の被害に見舞われる。